



『未来への架け橋』

() 小学校 (6) 年 () 組
名前

学習ガイド (小学校6年生 国語)

《学習の内容》

*毎日こつこつチャレンジ

285 ページから「小学校で習う漢字」があります。これまで学習した漢字を復習してみましょう。1日、何文字書くか、計画を立てて進めよう。

1日目 声に出して読んでみよう

- (1) 教科書の表紙の裏(巻頭)の「いのち」を連に気をつけて10回以上音読してみよう。
- (2) 教科書2～5ページの「目次」を読んで、一年間の見通しをもとう。どのような学習内容なのか、予想してみよう。
- (3) 教科書6～9ページの「国語の学習の進め方」を読んで、1年間で学習する『★言葉の力』を確かめ、1年間の見通しを持とう。

2日目 新しい漢字の練習をしよう

- (1) 教科書277ページ「盛」から「株」を漢字ノートに5回ずつ書いてみよう。

3日目 気持ちよく対話を続けよう

- (1) 「対話」の意味調べをしよう。国語辞典やインターネットを活用しよう。
- (2) 教科書10・11ページを読んで、新聞やテレビを見て気になったニュースを取り上げて、家の方と対話(お話)をしてみましょう。どんなニュースが取り上げられたのかノートに書いてみよう。
- (3) 対話を成り立たせ、気持ちよく続けるためには、どのようなことに気がつけたらいいと思うか、書いてみよう。

4日目 原因と結果に着目しよう

- (1) 教科書12・13ページを読んで、12ページ上の①②③のちがいを考えよう。
- (2) 教科書13ページ上の絵にえがかれている出来事について原因と結果の関係をはっきりさせてノートに文章で表してみよう。

5日目 漢字の練習をしよう

- (1) 教科書15ページの「5年で習った漢字」をノートや教科書に書きましょう。

(2) 302 ページ解答で確認して、間ちがいは5回以上やり直しをしよう。

6日目 朗読で表現しよう①

- (1) 26・27 ページを読み、「言葉の力」に書いてあることをノートに要約しよう
- (2) 17 ページからの「サボテンの花」、22 ページの「生きる」を読んで、より心にひびいた作品をどちらか選んでみよう。
- (3) 選んだ作品が心にひびいたと感じたところをノートに書こう。

7日目 朗読で表現しよう②

- (4) 選んだ作品を場面の様子に合わせた声の出し方、強弱、速さ、間の取り方などを考えて3回以上読んでみよう。

8日目 筆者の論の進め方を確かめよう①

- (1) 34 ページと 45 ページにある「言葉の力」を読んで、この単元で学習することを確かめよう。
- (2) 「イースター島にはなぜ森林がない」という題名から、どのようなことを連想するかな。ノートにかいてみよう。5年生で使った連想メモを使ってもいいね。
- (3) 35 ページから「イースター島にはなぜ森林がないのか」を読んでみよう。
・「？」を見つけながら読もう。不思議なこと、意味が分からなくて調べたい言葉などを見つけながら読もう。
- (4) 国語辞典やインターネットを使って、本文の中の調べたい言葉を調べよう。

9日目 筆者の論の進め方を確かめよう②

- (1) 本文を形式段落に分けてみよう。そして、序論・本論・結論のまとまりで分けてみよう。
- (2) 筆者である鷺谷いづみさんの考えはどこにどのようにまとめられているのか、見つけて、30字以上50文字以内でノートに書いてみよう。
- (2) 鷺谷いづみさんは、考えを述べるために、序論・本論・結論にどんなことが述べているのか、書いてみよう。
- (3) 本論ではどんな事実や事例が挙げられていますか。44 ページ上の図を参考にノートにまとめてみよう

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

- (1) 音読等はできる範囲で聞いていただき、励ましてあげてください。
- (2) 新聞やテレビを見て気になったニュースを取り上げて、やりとりする学習があります。「そのニュースからどんなことを考えた？」等、尋ねてあげてください。そして、自分の考えを述べることでできたら褒めてあげてください。
- (3) 漢字の学習では、子どもたちの日常会話ではあまり使い慣れていない熟語も掲載されています。家庭に国語辞典があれば調べるように促すことも有効です。また、国語辞典が手元にない場合は、意味を一緒に考えたり、ヒントを出したりしてください。言葉の意味を知ることによって、理解が深まり定着につながります。

学習ガイド（小学校6年生 算数）

★はじめに★

表紙をめくって、もくじを読んでみましょう。

2・3ページ「教科書の使い方」を読みましょう。

4・5ページ「学習の進め方」を読みましょう。

学級のみみんなで、学習をスタートさせることができるように、これまでの算数の学習の進め方を確かめておこう。

- (1) 表紙の絵をみて、気づいた事をノートに書きましょう。また、ロケットの側面にある円の白い部分の面積をくらべてみましょう。
- (2) 10・11ページをみて、整ったきれいな形とはどのような形のことなのか、自分の考えを書きましょう。
- (3) (2)で考えた「整ったきれいな形」をなるべくたくさん探しましょう。できれば見つけた「整ったきれいな形」をノートに書き写しましょう。
- (4) (3)で見つけた「整ったきれいな形」を仲間分けしましょう。仲間分けする観点をたくさん探して、様々な分け方を考えてみましょう。
- (5) 生活の中で算数が使われていることについて調べ、感じたことを書きましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

6年生は自分で計画を立てて学習を進めたり、予習をしたりするなど自ら学ぶ態度を育てましょう。また、自分の考えをもち、自分なりの方法で問題を解こうとする力も伸ばしていくようにしましょう。

ガイドのポイント

- (1) 算数科の学習に期待や興味を持たせるのがねらいです。登場人物が何を話しているのか、何をしているのか等、表紙を見ながら親子で一緒に想像をしながら話をして下さい。ご兄弟がいる場合は他の学年の表紙と比べてみるのも良いです。
- (2) 自分なりの考えを自由な発想で書かせてください。書けたら説明をさせて、言葉を補ったり、詳しく書かせたりするように声かけをして頂けると良いです。
- (3) 教科書では対称な図形（線対称・点対称）を取り扱います。ここでは、お子さんの自由な発想を生かして様々な形を認めるようにしてください。その際、なぜ整ったきれいな形だと思ったかを聴いて説明させると良いです。
- (4) 調べた形を分類させます。図形の特徴に着目した分類ができるるとよいのですが、算数的でない分類（色で仲間わけ、食べられるもの・食べられないもので仲間わけ等）も認め、自由な発想でなるべくたくさん考えさせてください。
- (5) 生活の中から算数が使われていると思う物をなるべくたくさん考えさせてください。思いつかないお子さんには、「コンピューターが使われている物だよ」等のヒントを与えてください。

※ 子ども達は経験したことのない状況でストレスを抱えています。間違えたり、できなかったりしても、叱ることなく、温かい雰囲気の中で学習に取り組ませて頂きますよう、よろしく願います。また、できたときには、しっかりとほめてあげてください。今後の自信につながります。

※ 算数の教科書にはQRコードが印刷されています。スマホ等で利用可能ですので、ご活用下さい。

学習ガイド（小学校6年生 社会科）

★はじめに★

教科書6年政治・国際編の表紙をめくって、もくじを読んでみましょう。

2・3ページ「5年生で学んだこと」4・5ページ「6年生で学ぶこと」を読み、その中から、写真を選んで6年生で学びたいことをノートに書いてみましょう。

(1)「わたしたちの暮らしと日本国憲法」(教科書6年政治・国際編P8～P19)をもとに、自分たちの身の回りにある「法やきまり」にはどんなものがあるのかを調べてみよう。

① どうして法やきまりが必要なのか、教科書P8～P9を見たり、自分たちの普段の生活をもとに考えたりして、自分の意見を200字以内でこれまで使ってきた社会科ノートにまとめてみましょう。

② 「日本国憲法」とはどのようなものか教科書P10～P19を使って調べ、図や文章でこれまで使ってきた社会科ノートにまとめてみましょう。

(2) 5年生で使っていた教科書を用いて、災害から身を守るために大切なことについて調べよう。

① 「自然災害を防ぐ」(教科書5年㊦P128～P135)を読み、災害の恐ろしさや、災害を防ぐために大切なことについて自分なりの考えをもちましょう。

② 教科書5年㊦P136～P137を参考にして、自分なりの考えを、これまで使ってきた社会科ノートに図や文章でまとめてみましょう。

③ まとめた考えを家族と一緒に話し合い、家族でのルールを決めましょう。決めたことも、これまで使ってきた社会科ノートにまとめてみるとよいですね。

《保護者による関わり方のポイント》

(1)「わたしたちの暮らしと日本国憲法」の学習では、日常生活の中にあるルールについて、「どうして法や決まりが必要なのかな。」と親子で一緒に考えるなど、お子さんの「これもそうかな?」「もしなかったらどうなるのかな?」という気づきを認め、興味関心を高める促しをお願いします。

(2)「日本国憲法」の基本的な考え方と自分たちの暮らしとの関連について、親子で話し合うよい機会です。ぜひ、積極的にこの機会を活用してみてください。

(3)「自然災害を防ぐ」の学習では、保護者の方の経験や見聞きしたこともお子さんに伝え、「防災」の大切さをより身近に感じることができるよう声かけをお願いします。

(4)避難場所や親子の連絡方法など、実際に起こりうる災害場面での対処方法を親子で考えるよい機会です。お子さんが、話し合ったことを家族全員の前で発表し、共有し合う場を設定するなどし、お子さんの学習活動に対する有用感はもちろん、ご家庭の防災にもこの学習をお役立ていただきたいと思えます。

学習ガイド（小学校6年生 理科）

★はじめに★

表紙には、どのようなイラストや写真がありますか？

表紙をめくってみよう。この写真や言葉から、どんなことにきづくかな？

2・3ページ「目次」「理科の学び方」「話し合いのしかた」を読みましよう。

4・5ページ「教科書の使い方」を読みましよう。

学級のみんなで、学習をスタートさせることができるように、これまでの理科の学び方を確かめておこう。

(1) 教科書6～9ページを読んで、私たちの生活と環境の関係について考えます。

①教科書6, 7ページを見て、「空気」「水」「食べ物」「電気」の4つの視点から、わたしたちの生活が、どのように環境と関わっているかについて、それぞれ気付いたことをノート（古いノートや連絡帳などでよいです）に書き出ましよう。

(例)「空気」……○植物の成長に空気が必要。

「水」……○雲から降った雨がダムに集まっている。

「食べ物」……○牧場で動物を育てて食べる。

「電気」……○建物の屋上に太陽光発電機がある。

②教科書8～9ページを読んで、6年生の理科の学習内容について見通しを持ちましよう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

○ 6年生の理科学習では、自然の事物・現象（エネルギー・粒子・生命・地球）について多面的に考えて、妥当な考えをつくり出すことができる問題解決力を育むことをねらいとしています。

(1) 生活場面を思い出しながら、「人の生活と環境との関わり」について考えられるように促してください。

(2) 「空気」「水」「食べ物」「動物」「電気」の、どの視点からも考えられるように、「車や電車はどのようなようすか、どのようにして動くのか？」など、考えるきっかけを示してあげてください。

(3) 地球温暖化や環境破壊についてなど、日頃からご家庭での話題にされて、お子さんに興味・関心を持たせるようにお願いします。

学習ガイド（小学校6年生 外国語）

★はじめに★

表紙をめくって、さまざまな写真を見てみましよう。

この一年の外国語学習でどんなことを学ぶのかな？想像してみよう。

(1) 教科書【NEW HORIZON Elementary】(P 2・3)を見ながら、英語の学び方（教科書の使い方）の見通しをもちましよう。

○ 学習の流れ【8つのUnitとCheck Your Stepsまで】をつかみましよう。

- ピクチャーディクショナリー【Picture Dictionary】の使い方を知りましょう。
- 教科書で使われている記号の意味を知りましょう。

(2) 教科書【NEW HORIZON Elementary】にあるQRコードを、スマホやタブレットで読み取り、英語を聞いてみましょう。

- 教科書に合わせて音声のみを聞くものと動画を見るものがあるので、どちらかを選んで使いましょう。
- パソコンを使う方法もあります。<http:tsho.jp/02p/e6/dl/> からアクセスできます。

(3) ピクチャーディクショナリー【Picture Dictionary】のQRコードを、スマホやタブレットで読み取り、英語を聞いてみよう。

- 学習する単語【Words】を聞いてみましょう。
- パソコンを使う方法もあります。<http:tsho.jp/02p/e-pd/dl/> からアクセスできます。

(4) アルファベットを書いてみましょう。

- 教科書【NEW HORIZON Elementary】(P90～P92のUuまで)を使ってアルファベットの大文字と小文字を書く練習をしましょう。
- P90からP92のQRコードを読み取ると、発音を聞くことができます。
- パソコンを使う方法もあります。<http:tsho.jp/02p/e6/abc/>からアクセスできます。
- ピクチャーディクショナリー【Picture Dictionary】の表紙のQRコードを読み取ると、アルファベットクレイアニメを見ることができます。
- 英語ノートをダウンロードし印刷できるならば、繰り返し練習しましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

- (1) 英語の単語や文章を読んだり、音声を聞いて発音の学習をしたりしていませんので、予習として、学習に興味関心や見通しをもたせながら、教科書を見せてください。スマホやタブレットから、QRコードが読み取れますので、可能であれば、一緒にご覧ください。パソコンでもアドレスを入力すれば、同じサイトにアクセスすることができます。
- (2) 5年生までの学習を生かして、アルファベットの書き方に取り組んでほしいと思います。4線の使い方や字形・書き順が正しいか、見てあげてください。
- (3) パソコン等が使えない時は、教科書を見て読んだり、文字をなぞって書いたりする学習を進めてください。